

# 総額33億8,702万円の補正予算

## 新型コロナウイルス感染症関係の予算

### ◆自主的なPCR検査費用の補助（4659万円）

本市に在住・在職の人の不安を解消するため、厚生労働省が無症状の検査方法としている検査を対象に、上限1万円（月2回まで）を補助します。子どもも対象です。簡易キットは対象になりません。

4,500件の想定で予算化しており、申請を受理した順に支給する予定です。

### ◆自宅療養者に対する緊急相談体制（1100万円）

自宅療養や入院待機者に対し、医師による電話相談や往診を行います。

10月1日から12月31日まで。月曜日から土曜日の9～18時まで。

大阪府が、平日・土曜日の夜間と日曜日に実施していることから、その対象外の時間帯に対応するものです。

### ◆高齢者と障害者の入所施設への初期対応支援（100万円）

入所者が感染し、入院することができず、施設での療養となった場合への対応です。

感染症に長けた病院から看護師チームを派遣し、初期対応とゾーニングなどの指導を行います。

#### これまでの事業で、予算の追加が必要となったもの

- ・入院医療費費助成費（1億4521万円）
- ・感染症検査費の公費負担（1億9681万円）
- ・PCR外来の運営（1億130万円）
- ・濃厚接触者への健康観察支援（配食サービス・4450万円）
- ・濃厚接触者となった高齢者の施設受入れ事業（61万円）
- ・公共施設の消毒（2000万円）

## 経済産業関係の予算

### ◆ギフト事業（5億7605万円）

在住市民を対象としたギフト事業です。

プレゼントを通じて、今まで知らなかった市内事業者を知っていただくよう、市民生活と事業者の両面を支援する目的で実施されます。

【当選本数】 4万6000本（重複当選なし）

【ギフト種別】 5万円分、3万円分、1万円分、5千円分の景品（物とサービス）

【総額】 4億7400万円

【応募方法】

- ①市内店舗で購入した合計5,000円分のレシートを1口として募集  
（12月1日～1月15日）
- ②締め切り後、抽選、発表。
- ③景品発送は、2月中旬から下旬を予定

この事業の委員会質疑では、様々な意見や指摘がありました。

事業の制度設計の過程において、「産業振興条例」でも歌われている産業経済団体などとの強力・連携が見えないことが課題視されました。

議会として、現場感をもった産業支援・消費喚起とするため、「附帯決議」を付しました。

### ◆雇用調整助成金等申請補助（2103万円）

自粛要請などにより事業活動に影響があります。その対応措置として、事業を縮小するものの、従業員を雇用維持するために支払う休業手当の補助制度があります。

その手続きには、各種申請書類が必要で、社会保険労務士へ依頼する経費を市が補助することにより、助成金の活用を容易にするものです。

# (仮称)駅前庁舎改修工事の設計業務委託料 予算案の否決

『(仮称)駅前庁舎改修工事の設計業務委託料』は、大阪電気通信大学駅前キャンパスを購入した後、窓口サービスを中心とした市庁舎に改修するための予算です。

## スケジュール(案)

令和3年9月	改修工事設計業務委託料
10月	大阪電通大学と取得の本契約
11月	設計業者決定
令和4年3月	改修工事費の予算上程
6月	改修工事事業者の選定
7月	改修工事請負契約の議決
8月	工事着工
令和5年1月	工事完了 情報システムの整備
4月	移転準備
5月	GWに移転作業 5月8日にオープン予定

## 各階配置(案)

7階	乳幼児検診
6階	子育て支援課、子どもを守る課
5階	保育課、子どもを守る課(手当担当)
4階	税関係
3階	健康保険関係 市税・保険料の徴収・納付
2階	戸籍・住基関係 市民生活担当
1階	総合案内、総合相談窓口 市民交流・くつろぎスペース

予算2,000万円について、議会では賛成少数で否決となりました。

私が反対と考える理由は・・・

- ①建物内部の施設関係などの詳細情報が、まだ入手できていない段階であること。(耐震に影響のない壁を無くすことで、レイアウトは大きく考え方が変わるため)
- ②7階建ての各フロアに配置する業務の割り振りに課題。特に、1階部分に設置予定の「くつろぎスペース(カフェなどを想定)」は不要と考えること。
- ③今はワンフロアの横移動だが、駅前庁舎は縦移動になり、導線に課題が残る。  
市民サービスを行うに当たり、運用面での詳細な検討が未実施であることから、順序が違う。
- ④デジタル化やワンストップ化への対応に改善の余地がある。
- ⑤寝屋川市駅前シティ・ステーションとの棲み分けに結論が出ていない。

この件については「特別委員会」も関与する事案です。行政から(案)が出るのを待って、案の審議中心から、議会側が案を作り上げて、逆に提案することを提唱しています。

ねやがわの  
データ

## 祝! 100歳

中核市で比較した、令和3年度中に100歳に達した(到達する見込み)方の人数です。

寝屋川市は、49人(女性44人、男性5人)

100歳の人数が多い中核市は・・・

①鹿児島市(約59万人)	262人	②大分市(約47万人)	196人
③長崎市(約41万人)	193人	④福山市(約46万人)	192人
⑤富山市(約41万人)	185人		
⑥松山市	172人	⑦姫路市	171人
		⑧宮崎市	166人
		⑨長野市	165人

人口比で多い中核市は・・・ ①呉市 ②下関市 ③佐世保市

# 一般質問で 市政を質す

## 契約のあり方

### 【質問に至った背景】

この2年程、契約のあり方や税金の使い方として「不当」と考えられる事案が散見されています。一方で、「最小の経費で最大の効果」を挙げるべく真摯な姿勢も見られます。税金の使い道を決定づける契約については慎重であるべきと考え、警鐘を鳴らす意味で質問をしました。

問：市民が対象となる申請書においては、押印の廃止が申請書では進んでいる。次は、事業者が活用する電子契約を導入していくべきでは？

答：市のDXの推進に重要な要因と考えている。BPRや行政手続きのオンライン化に有用であることから、調査研究を進める。

問：インフラの維持管理の効率化を目的に、様々な業務を一括して発注する「包括的民間委託」の手法を平成29年度に提案した。今では、国がその手法を推奨しているが、本市の方向性は？

答：前向きに検討を行う必要がある。

問：工事の平準化を、費用面と期間の両面で進める必要がある。工事期間を平準化する「ゼロ債務負担行為」が試行実施されているが、今後の方向性は？

答：毎年度、継続的に発注する工事では、工事期間の平準化は可能。「ゼロ債務負担行為」は、適用する事業範囲と予算編成の関係を検証していく。

問：物品の単価契約では「公開見積合せ」を試行することで、1円でも安く買うことに取り組んでいる。対象範囲の拡大の可能性は？

答：検証をふまえ、検討する。

問：中央図書館の椅子や机に「高価な物」があるとの市民からの指摘があった。備品購入への仕様書の作成や、備品金額などのチェックは？（1客当たり約46万円や約30万円など）

答：椅子や机は、図書館全体の空間イメージに合わせ、設計業者から総合的に提案いただいた。それを基に担当課で仕様書を作成し、金額を確認した。

問：この時期はコロナ禍であったことから、契約については市内事業者・国内事業者という順で優先するという考え方か？

答：その通り。

問：椅子や机は、ほとんどが海外製品。素材やデザインを見ても、国内産でも同等品は山ほどあるか？

答：海外の物でなければならないということではない。設計業者から総合的な観点で提案をいただいたため。

### 【質問の本質】

これまでの入札制度や、試行実施された「公開見積合せ」でも、1円でも安くなる取り組みをしている。

一方で、高価な契約がされるケースが、この2年間出てきた。

中央図書館の椅子と机のケースで言えば、コロナ禍という状況下で海外ブランドのものを買って、国外にお金を流す必要はない。

素材・デザインからも同等品は国産でも多々あり、それも現状より安価で購入が可能である。中央図書館の利用者の満足度を、より少ない経費で対応できると考える。

そこに、市全体としての取り組みの矛盾を感じる。

国産の同等品を買うことで財源が生まれ、図書館本来の役割である「情報や書籍」に購入に充てられたと考える。